

山遊び通信

No. 167

2020年2月17日

新日本スポーツ連盟

愛知スキー協

ぶなの木スキークラブ

第2回ぶなフェスタ 3月14日(土)～15日(日)

宿泊：白馬乗鞍スキー場 若栗ロッジ

TEL0261-82-2562

〒399-9422 北安曇郡小谷村千国乙 5512-1

宿泊費：1泊2食 8,000円 1.5泊3食(風呂なし pm11時以降到着) 12,000円

実行委員長：I 副実行委員長：K
実行委員：K S A K O H 会計：K

参加希望 2/16現在 31名

S、Y、T、(3/14のみ泊なし) U、O、M、Y、M、
F H(日曜・日帰り) S M K、K S H
O、O、A、A、O、T、A、I、K、K、K、K、M、H、
H、(日曜・日帰り) ~~≡~~(膝を痛め、今シーズンは休養)

※まだ、申し込みしていない方はぜひ参加の方向で検討して、石橋さんへ連絡して下さい

企画 ①山スキー アー両日ガイドツアーあり(安倍 仁さん 高木律子さん) 約7,000円/日
募集中、1日はぜひガイドツアーに参加して下さい。

イー自主企画

②ゲレンデスキー 藤田信さんの深雪教室

③夕食交流会 担当：小田

新入会員紹介

2019年11月以降に入会された方々です。

K.Yさん 中日新聞を見て

T.Sさん Sさんの紹介

A.Mさん Kさんの紹介

S.Nさん Oさんの紹介

これからのスキー行事

参加希望者は担当者に連絡して下さい

- ・ 2/21 (金) 夜発-24 (月) 長田さん追悼スキー (戸隠スキー場) 担当 : M 締め切りました
- ・ 2/24-28 リフトを使って深雪を滑る田沢湖スキー場 担当 : S 締め切りました
- ・ 3/7-8 薙刀山BC&スノーキャンプ 担当 : Y
- ・ 3/19-24 利尻バックカントリーツアー 担当 : K 締め切りました
- ・ 3/20-22 乗鞍岳 位ヶ原山荘に泊まるバックカントリー 担当 : A
- ・ 3/25-30 釋別荘に泊まる道南の山スキー 担当 : K
- ・ 3/29 (日) 石際ガイドによる白山周辺 (蓮如岳) 担当 : A
- ・ 4/4-5 山スキー入門企画妙高前山・三田原山
宿 : 片山さんの別荘に泊まる 担当 : A
新人・山スキー経験の浅い人対象企画です。 定員 6 名
- ・ 4/11-12 小峰ガイドと滑る乗鞍オートルート 担当 : A
- ・ 5月連休スキー 立山 宿 : 雷鳥荘 076-463-1664
Aコース 5/2 (土) ~6 (水) 雷鳥荘に4泊 担当 : 未定
Bコース 5/2 (土) 夜発~6 (水) 雷鳥荘に3泊 担当 : A
Cコース 5/2 (土) ~5 (火) 雷鳥荘に3泊、扇沢から入山
5/5は扇沢で車中泊 5/6 (水) 針ノ木雪渓下見 担当 : K
- ・ 5/16~17 全国スキー協山スキー部 針ノ木岳大雪渓
主管 : 愛知ぶなの木・滋賀ブラッファーズ 内容 : 別紙参照
下見 : 5/6 (水)

1 山スキーリーダー3名誕生！！

1月11日~13日、乗鞍高原スキー場で全国山スキー部主催の山スキーリーダー養成・検定・研修が開かれ、養成には愛知のぶなの木から3人(Fさん Kさん Sさん)、岐阜アスペンから1名、東京から1名の計5名が参加し、同時に行われた検定会で全員が合格、山スキーリーダーとして認定されました。これからの活躍が期待されます。



新・山スキーリーダーから ひとこと

Sさん

テント泊で山スキーに行ってみたくて以前から思っていました。山スキーリーダーの机上講習を受け、実際に山行に参加する事によってより理解が深まりました。

講習の内容は1日目は乗鞍高原スキー場、休暇村スキー場のコースを隅から隅まで滑ることが出来て大変満足しました。2日目はテント泊装備を背負って位ヶ原までの登行は大変でした。最初の壁はアイスパーンでクートとシールでは歯が立たずスキーを外してキックステップでやっとの事で登り切りました。途中での弱層テストは雪、ザラメ、弱層が層になっている所を観察することが出来ました。コンプレッションテストも実際に講師の先生がシャベルで雪の層に振動を加え雪が弱層の所でずれるかどうかを見て判断する方法が良く解りました。以前労山の雪崩講習会を受けたときは残念ながら条件が悪く均一な雪の状態であったので弱層が解らず今回の講習で疑問が解けました。

位ヶ原の樹林帯の中にテントを設営して、今度は一列になり埋没者を雪崩から掘り出す搬出訓練をしました。実践的な訓練が出来て良かったです。年のせいかここ数年冬のテント泊をしていなかったもので楽しかったです。

一夜明け位ヶ原の上は強風で肩の小屋まで行くのはやめスキーで下りながら3人一組になりビーコン、プローブ、スコップで捜索訓練をしました。先生の指示通りにビーコンを操作するとビーコンの入っているカバンをゾンデ棒で刺してしまいました。まさか当たるとは思っていなかったので強く刺してしまいカバンに穴が開くと注意されてしまいました。今まで何度もビーコン訓練をしていますが探し出せる自信は全くありませんでした。今回正しく操作をすれば正確に探し出せる自信が付きました。講師の皆様ありがとうございました。



弱層テスト



Kさん

愛知ぶなの木スキークラブのKです。

この度、山スキーリーダーとして認定をいただきました。ありがとうございました。

私は、10台後半からスキーをはじめ、その後はゲレンスキーを自己流で続け20年ほど前事情があり一旦、離れてしまいました。

子供が成人し10年ほど前から戻ったのですが、その折その少し前から始めた登山（山岳会）の先輩に誘われ山スキーを始めたばかり、山スキーではまだまだ新人です。

その後、山のガイド資格を取り、その関係でアバランチ研修など受ける機会があり、少しずつ雪山の知識を得ることができましたが、それでも山スキーはリスクの高いスポーツだということを山に入る度に感じます。そして、楽しく滑るための経験不足も感じていました。

今回、山スキーリーダーとして認定をいただきましたが、今回も講師先輩方との経験の差を感じていました。今後山スキーリーダー、スキーヤーとして安全に楽しく経験を重ね、多くの山スキー仲間を増やしていきたいと考えています。

Fさん

1/11～13の3日間、乗鞍高原で行われた山スキーリーダー養成講習&検定会に参加しました。雪上、雪中での演習を経て新たな知見を得ることが出来ました。例えば

- ・ビーコンでの探索：10mまで近づいたらスキーは脱いで歩行に切り替える。脱いだスキーは紛失防止の為、雪に立てて置くことを忘れずに。

- ・プローブ(ゾンデ棒)の挿し方：ビーコンが示す距離は埋没者のビーコンとの最短距離であるのでプローブは斜面(=雪面)に垂直に挿す。約25cm間隔で外側に向かって方形を描いて挿す。

- ・スコップで掘り出す際：4人ひと組が基本。従来は扇型に並んだが、1列が良い。2人目以降は雪を下へ流すように排出する。

又、弱層テストを初めて体験、層別の綺麗な模様とCP(コンプレッションテスト)でズレや切れが発生する事が実感できました。

結果は受験者5名全員が合格しました、全員で「今後もより一層経験と研鑽を積もう」と申し合わせをして再会を誓いました。

2 絶景とフワフワ雪の旭岳

旭岳のレポート

2020/20/6 Y

リーダーさん達が1年以上前から計画していた旭岳山スキー、ちょっと難易度が高いかなと思いましたが、冬の雪化粧した旭岳をぜひ見てみたくて参加させていただきました。

まずは総勢10名7日分の食材を買い込み、宿舎へ。管理人さんがとても親切で館内は清掃も行き届き清潔でした。そして貸し切りだったので気兼ねなく、ゆっくりできました。

さて山スキー、雪不足が心配されていた今季ですが、例年に比べたら少ないとはいえ、さすがにここまで来ると雪はたっぷりありました。

1日目、快晴。朝一のロープウェイで姿見駅まで上がり、まずはノートラックの斜面を滑走。途中から斜度が無くなり、歩いたり、少し上ってコースに合流して下まで。そしてもう一度ロープウェイで上がり、今度はシールを装着し山頂目指してハイクアップ。雲一つない青い空と白い旭岳、そして白い噴煙、振り向けば富良野岳、三段山、トムラウシ山まで見渡すことができ、360度絶景でした。でも山頂に近づくにつれ、岩がむき出しになってきたので途中まででドロップダウン。姿見駅を過ぎたコース外、斜度がきつくてコブコブのところはちょっと大変でした。

2日目も快晴。ロープウェイで上がり、西面をハイクアップして滑走。ちょっと斜度が少ないと言う人もいたけど、私にはちょうどいい斜度で雪もフカフカ、気持ちよく滑ったところで上り返し。もう一本滑って、お昼休憩。午後は前日行った南面を登り、ロープウェイ下まで滑走。前日の崖っぽい所は避け、広めの斜面を降りました。

3日目は曇り時々小雪、少し風もあり、ほどほどに西面をハイクアップ。姿見駅まで滑り休憩。午後は2日目と同じように南面を石室より少し先まで登り、滑りました。前日と少しずれたコースでしたが、また景色も様子も違って面白かったです。と、ここまでで私の休日は終了して翌日帰阪。

4日目5日目は寒波到来。残りのメンバーさん達は、さらにフカフカのパウダースキーや雪穴に落ちて雪風呂を楽しまれたそうです。

旭岳はコースも多く、雪質も良く、景色もいい、山スキーには申し分ない山でした。なかなか個人では計画できない企画、O先生をはじめ、ベテランメンバーさん達と協力し合い、とても楽しく貴重でいい体験をさせていただくことができました。本当にありがとうございました。



噴煙上がる旭岳めざして



快適な宿で夕食

3 第22回東海ブロック スノーフェスティバル・山スキー

大城記

1月24日夜～26日 平湯スキー場で開催されたスノーフェスタは135名の参加者で開催されました。その中の山スキー行事は10名の参加者でした。

25日(土) 猫岳中腹・夫婦松までの山スキー

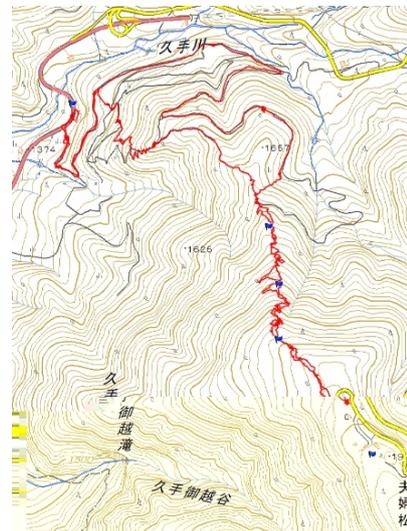
8時半、久手牧場入口1374mから登行を開始する。10名のうち1名は初めての山スキー体験者ということで大城がフォローしながら少し離れて登ることになりました。

晴天で遠くに白山を見ながらの登行です。予想通り雪は少なく2日前の雨もたたってクラスト雪ではありませんでしたが、逆にラッセルもなく11時半には夫婦松1995mに到着。風もなく晴天で温かいことから雪でテーブルを作ったの昼食です。

12時半から滑降です。しかし、パック雪と笹で横滑りとボーゲンで下るのがやっと！！1700m付近でオープンバーンが現れ、唯一爽快に滑ることができました。14時半全員無事に下山となりました。

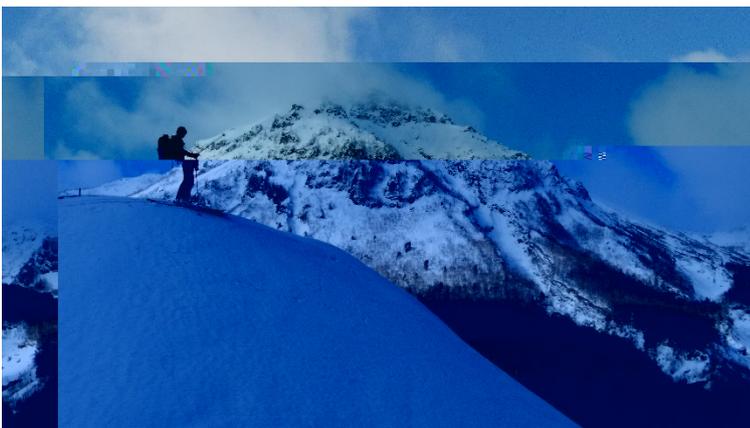


雪のテーブルで昼食



26日(日) 乗鞍岳山スキーを中止して上高地のスキーツアー

この日は小峰ガイドによる「ディープな乗鞍岳を楽しむ」山岳スキーを企画していましたが、尾根付近はアイスバーン、林間部は雨によるクラスト雪状態であることから安全のため中止としました。その代わりに紹介していただいた上高地の大正池北側を歩くツアーです。山スキーメンバー4人で歩きました。晴天で風も少なく上高地の雪景色を見ながらの楽しいスキーツアーでした。しかし釜トンネル片道30分の歩行は結構つらかったです。



焼岳をバックに

